143. 大谷中学校・蟹谷中学校の投光照明

中山 晶人

山路 雅弘

(岩崎電気株式会社)

1. はじめに

大谷中学校・蟹谷中学校は、富山県西部に位置する小矢部市のメルヘン建築といわれる公共建築物である。これらの建築物は、昭和51年から計画され古今東西の恒久的建築の構造的長所をとり入れ、かつ地域のシンボルとなり人々に親しまれ愛される公共施設を目指して作られた建物の一部である。特に学校に関しては、従来の画一的な建物と異なり管理的なイメージから開放された夢のある環境で学ばせたいとの思いを実現させています。こうした特色ある建物を富山県の夜間景観づくりのモデル事業の1つとして投光照明によるライトアップが行なわれましたので照明のコンセプトと照明設備の概要について報告します。

2. 照明のコンセプト

メルヘン建築を遠方から視認させ、接近すると、その建物がかもし出す幻想的でロマンチックな光景を作り出す。

3. 照明計画・手法

照明計画は、基本設計を行ない照明実験を現地にて実施して、以下の4点をもとに調査、確認をして行なった。

- (1) 遠方より視認出来る照度を確認する。
- (2) 建物の色合いを生かす光源を選定する。
- (3) 光と影が作り出す演出効果の良い投光位置を確認する。
- (4) 建物全体を照明出来る照明設備の数量を確認する。

照明実験結果より照明器具は、狭角形、中角形、広角形の投光器を組み合わせで使用し、光源は、400W, 700W, 1000Wのメタルハライドランプを使用して以下の内容にて設置した。

- ・建物全体は、建物前方に配置した景観を考慮したデザイン照明柱(灯高5m)より投光。
使用照明器具－狭角形、中角形投光器。使用光源－400W, 700Wメタルハライドランプ
- ・塔屋(時計塔)は、屋上及び塔際より投光。
使用照明器具－狭角形、中角形投光器。使用光源－400W, 700W, 1000Wメタルハライドランプ
- ・列柱は、柱際下部より投光。
使用照明器具－狭角形、中角形投光器。使用光源－400Wメタルハライドランプ

5. おわりに

大谷中学校・蟹谷中学校の投光照明は、小矢部市の「ふるさと景観づくり事業」としての公共建築(メルヘン建築)のもつ雰囲気を生かし、幻想的でロマンチックな夜間景観をつくりあげ、魅力ある都市景観となり大変好評を得ている。

Flood Lighting of OHTANI and KANDANI JUNIOR HIGH SCHOOLS

Akihito Nakayama, Masahiro Yamaji